

平成19年度 事業報告書

1 保存普及事業（寄附行為 第4条第1号該当）

鉄道遺産等普及事業

1893年に横川・軽井沢間に官設鉄道が開通し、1997年長野新幹線開通に伴い廃止されるまで105年に亘り育まれてきた鉄道文化は、今多くの重要な施設と人材を残している。特に碓氷第三橋梁（めがね橋）・旧丸山変電所やED42型・EF63型電気機関車等に代表されるハード部分の遺産と、旧国鉄及びJR職員に代表されるソフト部分の遺産を活用し、広く情報収集を行い、紀要の発刊を行った。

甦る碓氷線

「鉄路が峠を越えた（峠の鉄路を支えた人々 No.8）」の作成

A5版 16ページ 400部

2 情報発信事業（寄附行為 第4条第2号該当）

① 碓氷峠を紹介する資料の発行

歴史と自然の豊かな碓氷峠を広く紹介するための資料とともに碓氷峠を散策するガイドブックとしても役立つ資料を配布し利用者の便宜を図った。

峠ウォッチング「碓氷線絵地図」 B5版変形 16ページ

② インターネットホームページの開設

情報発信が可能なインターネット上にホームページを開設し、鉄道文化むら・交流館（峠の湯）・くつろぎの郷の各施設の紹介をはじめ碓氷峠の情報を発信するとともにE-mail等を活用し、各種イベントの紹介並びに自主事業参加者の募集や関連する情報収集を行った。

○ 鉄道文化むら・交流館（峠の湯）・くつろぎの郷ホームページの内容充実と日々の更新の実施。

3 交流事業（寄附行為 第4条第2号該当）

① 遺産とふれあう交流事業

「碓氷線ウォーキング」の開催

峠の歴史に触れてもらうため、旧国鉄職員の同行により当時の峠越えのエピソードや沿線の紹介及び説明を聞きながら、碓氷第三橋梁（めがね橋）・旧丸山変電所等の鉄道遺産。また、旧中山道・坂本宿・碓氷湖等の街道遺産を味わうアートの道や坂本宿等を散策するウォーキングを実施した。

実施期日

（春） 5月20日（土） 6月3日（日） 6月9日（土）

計画 5回 実施 3回 計 64名

（秋） 10月21日（日） 10月27日（土） 11月4日（日）

11月10日（土）

計画 5回 実施 4回 計 103名

合計 計画10回 実施 7回 計 167名

② 地域ふれあい塾の開催

自然あふれる当地域の特性を生かした「地域ふれあい塾」を安中市松井田町観光協会と共に開催で鉄道文化むら園内において、モデル撮影会を実施した。

なお、入賞した作品は交流館〔ギャラリー〕を始め各施設において随時展示をし当地域の魅力を入園（館）者等に広く紹介を行った。

実施期日

11月25日（日）

参加者 130名

③ 第8回碓氷峠紅葉まつり俳句大会の開催

碓氷峠は古来より、紅葉の美しさでも知られ、唱歌「もみじ」の作詞の場でもある。その峠の紅葉の美しさを俳句で表現してもらうことにより、峠の自然、歴史を理解して頂く為に俳句大会を実施した。

募集期間 9月1日より10月10日まで 1人2句まで
応募者及び応募句数 134名 260句 入選者 8名
俳句大会 11月3日（土）安中市松井田町支所基幹集落センター
大会当日句 27名 27句 入選者 8名
選 者 鈴木貞雄先生

④ 碓氷峠友の会の運営

財団の趣旨に賛同される方から会費（個人2,000円）を募り「友の会」を運営。情報提供等を行った。

会員数（3月31日現在） 310名 年会費 2,000円
機関誌「とうげ」の発刊 通巻28号～31号の4回発刊
当初からの登録会員数 918名 有効会員数 310名

⑤ 鉄道映写会の開催

前年に引き続き「懐かしの蒸気機関車」の映写会を5月のゴールデンウィークに鉄道文化むら資料館で「帰ってきた蒸気機関車」他3タイトルを上映した。

実施期日 5月3・4・5・6日の4日間
上映回数等 1日3回 計12回 観覧者 延べ310名

⑥ 交流館（峠の湯）割引券の配布。

町民の憩いの場とし町内居住者の利便を図るため、70歳以上の高齢者へ割引優待券（熟年券）12枚の配布及び市内全世帯へ割引優待券（世帯利用券）10枚を配布し市民の健康増進に務めた。

利用状況
熟年者割引優待券【1人に12回利用券を配布】（入館料200円）
利用者数 5,459人
世帯別割引優待券【全世帯1件に10枚配布】
(入館料 大人300円・小人200円)
利用枚数 11,375枚 利用者数 26,175人

⑧ 碓氷峠に関連する各種事業への協力

関係機関等で実施する碓氷峠に関わる諸事業に協力を行った。

4 安中市の公共施設の管理運営事業（寄附行為 第4条第3号該当）

I 「碓氷峠鉄道文化むら」の適切な管理運営。

○ 開園日数 308日
○ 入園者数 193,941人 (延べ 1,798,846人)
① E F 6 3形電気機関車」運転体験事業
実車を運転できるという鉄道ファンの「夢」を実現させ、鉄道への理解を深めるため、碓氷峠専用機関車の運転体験の実施。

学科講習終了後、指導機関士の指導でEF63形機関車保存運転線区間往復800mの運転。

学科講習料 30,000円、運転体験料 1回5,000円～

運転体験回数により割引

学科講習修了者 191人 (男183人・女8人)

延べ人数 合計 1,457人

(男1,409人・女46人)

運転体験者(延) 2,312人 (1日平均 7.5人)

② 碓氷峠のトロッコ列車(シェルパくん)の運行管理事業

運行日数 170日 ・ 運行便数 1,412便

乗車人数 97,108人

③ 鉄道の日並びにJR東日本主催の旅のプレゼントと協賛して10月14日(日)を入園料金無料とし園内を開放した。

④ 「鉄道の日」イベント〔10月13日(土)～14日(日)〕

特別割引セット券販売・EF63形電気機関車機械室の公開

アプト式電気機関車「ED42型」の野外展示・緩急車乗車体験

車掌服で記念撮影・D51汽笛を鳴らせ等

⑤ 施設及び設備等の保守管理業務(修繕等)

ミニSL客車・園内歩道・券売機・ロコ広場時計台・トロッコ列車

EF63電気機関車・ジオラマ・展示車輌・シュミレーター・

鉄道資料館・鉄道展示館・浄化槽等

⑥ 横川～軽井沢間、除草及び支障木の伐採等鉄道施設の維持事業の実施。

⑦ 「御守砂」入園者プレゼント〔12月1日～2月末日まで〕の実施。

FE63電気機関車のすべり止め用の砂を、御守砂として来園者にプレゼントをした。(573個)

⑧ 矢の沢川親水公園の清掃及び草刈等の実施。

II 「碓氷峠の森公園交流館」の適切な管理運営。

開館日数 341日

入館者数 185,022人 (延べ 1,363,560人)

① 交流館(峠の湯)シャトル・巡回タクシーの実施

運行日 平日(第2・4火曜日は除く)

シャトル運行日数 195日 利用者数 5,301人

1日平均 27.2人

送迎タクシー運行回数 68回 利用者数 368人

1回平均 5.5人

② イベント等の実施

鯉のぼり・節句人形の展示 [4月11日～5月7日]

こどもの日プレゼント [5月3日～5月5日]

チャリティ抽選会 [6月14日～6月25日]

駄菓子コーナー「らせん階段」の実施 [7月21日～8月10日]

サマーイベント(七夕祭り・紙芝居・bingo等)

- | | |
|--|------------------------|
| □ スイカ割り大会 | [8月1日～8月7日] |
| □ おばけカボチャの体重当てクイズ | [8月18日～8月19日] |
| □ 群馬県民の日「入館割引・ソフトリンクのサービス等」 | [9月12日～9月30日] |
| □ クリスマスイベント（イルミネーションの実施・ジングル抽選会イブイブプレゼント等） | [10月28日～11月14日～12月25日] |
| □ 年末年始特別営業の実施 | [12月31日～1月4日] |
| □ 顔出し雛・ひな人形展示 | [2月24日～3月4日] |

③ 施設及び設備等の保守管理業務

露天風呂パーゴラ・空調設備・トイレ・脱衣所床・ポスレジ
浄化槽・高圧洗浄機等

④ 硬氷峠の森公園の管理業務

公園内の清掃及び雑草対策（草刈り）・樹木の剪定等の実施。
遊具・ベンチ等の点検及び修繕の実施。

⑤ 屋外公衆トイレの管理業務

安中市が設置した公衆トイレ2ヶ所の維持管理（清掃等）の実施。

III 「硬氷峠の森公園くつろぎの郷」の適切な管理運営。

- | | |
|-----------------------|--|
| ○ 開館日数 | 366日 |
| ○ コテージ利用棟数 | 870棟 |
| ○ 屋内交流広場等利用者 | 264団体 |
| ○ 利用人数 | 7,051人 |
| ○ 施設及び設備等の維持管理業務（修繕等） | コテージテラス・フェンス・ガステーブル等の修繕及び駐車場・園内の草刈り・樹木の剪定等の実施。 |
| ○ 貸し農園の補助的な業務の実施。 | |

5 会議の開催等

①理事会の開催

- 第1回 平成19年 5月25日
第2回 平成19年10月17日
第3回 平成20年 2月25日

②評議員会の開催

- 第1回 平成19年 5月25日
第2回 平成19年10月17日
第3回 平成20年 2月25日

③硬氷峠の森公園管理運営連絡調整会議

- 第1回 平成19年 7月 6日
第2回 平成19年12月21日
第3回 平成20年 2月18日